

会 長	鈴木 伝男	所在地	鳥取市青葉町三丁目 121-1
事務局長	入江 敏夫	TEL/FAX	0857-26-3997 / 0857-26-4018
設立年月日	平成 21 年 1 月 23 日	Mail	cc-jyohoku@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,121 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/johoku-1
組織構成	会長 1 名、副会長 4 名、事務局 2 名、会計 1 名、監事 2 名、委員 58 名		

地域コミュニティ計画 『城北まちづくり いきいきプラン』

- 策定期間 平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 目 標 元気で、楽しく、心地よく、住んでよかったと実感できる城北

◆ 地域の課題

「自分たちの地域は、自分たちで創る」という住民ひとり 1 人の意識が重要ですが、若者世代の参画が少ない状況です。地域の将来を担う若い世代が地域に関わる機会が減ってきています。その一端は、健康長寿化によって、長期にわたって地域活動に参画する高齢者が増えた結果、役員が固定化し、活動内容が膠着化する要因となっています。若者世代が魅力を感じて、新規に地域活動に参画しにくい環境となり、悪循環を生んでいると考えられます。

また、地域に関心を示さない住民が増えた結果、地域にある「支え合いを目的とする共助団体」の活動内容や、困り事を解決するために“いつ”・“誰に”・“どこに”相談すればいいのか分からず、地域社会との関わり（繋がり）が出来る場所や、参加方法を知らない住民が増え、困ったときに孤立する要因にもなっています。

◆ 主な活動内容

事業① 孤立を防ぐ取り組み：『城北地区支え合いネットワーク』(保存版)作成

この事業は、困ったとき当事者を孤立させない取り組みです。困りごとを相談する場所や、地域に「話し愛・支え愛」のネットワーク（仕組み）・共助団体（自治連などの地縁団体や地区社協などのテーマ団体）の活動内容を「見える化」して、情報提供することを目的にしました。地域にある 2 3 団体の各種団体と行政機関である市・社会福祉協議会・地域包括支援センター等と連携協議会を立ち上げ、内容を検討して作成しました。

事業② 地域行事をみんなで創り上げる喜びを味わう取り組み：納涼まつり

この事業は、地域が一体となって実施してきた“実行委員会方式”の事業の棚卸しの過程を通して、長年、イベントを牽引してきた世代と、次の地域活動を担う若い世代が、協力して企画・運営する取り組みです。委員会組織の業務内容を「規約」という形で「見える化」（明文化）し、小・中学校 PTA 役員を委員会の中核に据え、ボトムアップ方式でやり甲斐を実感できるよう運営しました。

事業③ 豊かな人間関係と住みよい生活環境を築く取り組み：「あいさつ運動連携協議会」

この事業は、これまで個々の組織が単独で活動したり奨励したりしてきた「あいさつ運動」を、連携して事業化する取り組みです。このことによって、地域に一体感が生まれ、相乗効果と事業の成果が効率的に期待でき、地域コミュニケーションの活性化が図られると考え事業化しました。

◆ 今後の計画

住民が一体となって地域課題を解決する取り組みを、優先順位をつけて展開します。共助団体のベクトルを一つに纏めたり、各種団体の事業（活動）の狭間にある課題を掘り起こしたり、立場の違う誰もが「いいね！」と感じるまちづくりの輪を創っていきます。具体的には、事業の棚卸しの過程を通して、事業内容を可視化し、地域活動に誰もが無理なく関わられるような仕組みを、みんなで創りたいと考えています。